



安全データシート ジップクリーン(厨房用)

SDS改訂日:

2024/9/1

1. 化学品及び会社情報

1.1. 製品名称

製品の名称 ジップクリーン(厨房用)

1.2. 会社情報

会社名(輸入販売)

三洋ライフマテリアル株式会社

住所

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル 8階
03-3518-2151/fax 03-3518-2152

電話番号

製造元

ComStar International Inc.

住所

20-47 128th St. College Point, NY 11356 USA

電話番号

1-718-445-7900, 800-328-0142/fax 718-353-5998

1.3. 推奨用途及び使用上の制限

液体洗浄剤

2. 危険有害性の要約

2.1. 化学物質または混合液のGHS分類

H314 皮膚腐食性/刺激性 区分1A

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

2.2. ラベル要素

セクション11および12に列挙された毒性データを使用して、生成物は、以下のように標識されます。



警告

注意喚起語

[予防]:

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用 すること。

[反応]:

P301+330+331:飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P303+361+353:皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【またはシャワー】で洗うこと。

P304+340:吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+351+338:眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。



安全データシート ジップクリーン(厨房用)

SDS改訂日:

2024/9/1

P312: 気分が悪い時は医師/毒物センターに連絡すること。

P340: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

[保管方法]:

GHSの保管に関する記述なし

[廃棄]:

GHSの廃棄に関する記述なし

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物

| 成分/化学物質の指定 | 重量% | GHS分類 | 注意 |
|---|------|--|--------|
| 水酸化ナトリウム CAS番号: 1310-73-2 化審法番号:1-410 | <2 | 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 H314 区分1B 重篤な眼の損傷 H318区分1 水生生物に有害 H402 区分3 | [1][2] |
| グルコン酸ナトリウム CAS番号:527-07-1 化審法番号:2-1410 | <1.5 | 区分外 | 区分外 |
| オキシビスナトリウム塩 CAS番号: 70146-13-3 化審法番号: 9-1958, 2-10 | >1.5 | 重篤な眼の損傷 H318区分1 長期継続的影響により水生生物に毒性 H411 区分2 慢性 | [1][2] |
| 水 | | | [1][2] |

§ 1910.1200の Paragraph(i)に従って、組成物の特定の化学的同一性および/または正確なパーセンテージ(濃度)は、企業秘密として非公開とされています。

[1] 健康または環境有害性に分類される物質。

[2] 職場ばく露限界のある物質。

4. 応急措置

4.1. 応急処置

一般的な措置

応急措置をする人は、自身も守る必要があります。
疑わしい場合、または症状が続く場合は、医師の診察を受けること。
意識のない人には、絶対に口から何も与えないこと。

吸入した場合

新鮮な空気の場所に移し、患者を保温して安静にさせる。呼吸が不規則または停止している場合は、人工呼吸を行う。意識がない場合は、回復体位をとらせ、直ちに医師の手当てを受けること。医師の手当てを受ける。口からは何も与えないこと。

眼に入った場合

すぐに多量の水で15分間洗い流す。医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

汚染された服を脱ぐこと。
皮膚を石鹸と水で十分に洗うか、または適した洗剤を使用して良く洗うこと。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けること。安静に保ち、無理に吐かせないこと。

4.2. 最も重要な症状および効果(急性および遅発性)

概要

特定の症状データは入手できませんでした。
詳細はセクション2を参照。



安全データシート ジップクリーン(厨房用)

SDS改訂日:

2024/9/1

吸入 吸入すると有害。

5. 火災時の措置

5.1. 消火剤

水噴霧、CO₂、粉末消火剤、泡消火剤

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険有害性

危険な分解: 危険な分解に関するデータなし

粉じん/ 煙/ ガス/ ミスト/ 蒸気/ スプレーの吸入を避けること。

5.3. 消火を行う者への勧告

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際は、適切な保護具を着用すること。(セクション8参照)

6.2. 環境に対する注意事項

流出した製品が河川等へ排出され、環境へ影響を起ささないよう措置を講じること。

適切な衛生具を使用。飲食や喫煙、トイレを使用する前には、手を洗うこと。汚染された衣類は直ちに脱いで、良く洗うこと。

6.3 回収、中和等の処置

不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

大規模流出した場合は、水噴霧で洗い流すこと。排水管、下水道、または河川への流出を防ぐこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための予防措置

皮膚、眼等との接触を避ける。適切な保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着用する。取扱後は、よく手を洗う。蒸気や煙の吸入を避けること。

火災および爆発の防止: 酸化性物質、アルカリおよび酸との接触を避ける。高温多湿、直射日光、火元を避けて保管すること。

詳細は、セクション2-[予防]を参照。

7.2. 混触危険性等、安全な保管条件

容器の取扱いには十分注意し、破損や流出を防ぐこと。

不適合材料: 酸化剤、アルカリ金属、詳細はセクション2-[保管]を参照。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1. 制御パラメータ

| CAS番号 | 成分 | 情報源 | 値 |
|-----------|----------|------|--------------------|
| 1310-73-2 | 水酸化ナトリウム | OSHA | 2mg/m ³ |



安全データシート
ジップクリーン(厨房用)

SDS改訂日:

2024/9/1

| | | | |
|------------|--------------|--------|-----------|
| | | ACGIH | 2mg/m3 |
| | | NIOSH | 2mg/m3 |
| | | サブライヤー | 確立された制限なし |
| 527-07-1 | グルコン酸ナトリウム | OSHA | 確立された制限なし |
| | | ACGIH | 確立された制限なし |
| | | NIOSH | 確立された制限なし |
| | | サブライヤー | 確立された制限なし |
| 70146-13-3 | オキシビスニナトリウム塩 | OSHA | 確立された制限なし |
| | | ACGIH | 確立された制限なし |
| | | NIOSH | 確立された制限なし |
| | | サブライヤー | 確立された制限なし |
| N/A | 水 | OSHA | 確立された制限なし |
| | | ACGIH | 確立された制限なし |
| | | NIOSH | 確立された制限なし |
| | | サブライヤー | 確立された制限なし |

発がん性データ

| CAS番号 | 成分 | 情報源 | 値 |
|------------|--------------|------|---|
| 1310-73-2 | 水酸化ナトリウム | OSHA | 発がん性物質の選.:いいえ |
| | | NTP | 既知:なし 疑わしい:なし |
| | | IARC | グループ1: いいえ グループ2a: いいえ グループ2b: いいえ グループ3: いいえ グループ4: いいえ |
| 527-07-1 | グルコン酸ナトリウム | OSHA | 発がん性物質の選択:いいえ |
| | | NTP | 既知:なし 疑わしい:なし |
| | | IARC | グループ1: いいえ グループ2a: いいえ グループ2b: いいえ グループ3: いいえ グループ4: いいえ |
| 70146-13-3 | オキシビスニナトリウム塩 | OSHA | 発がん性物質の選択:いいえ |
| | | NTP | 既知:なし 疑わしい:なし |
| | | IARC | グループ1: いいえ グループ2a: いいえ グループ2b: いいえ グループ3: いいえ グループ4: いいえ |
| N/A | 水 | OSHA | 発がん性物質の選択:いいえ |
| | | NTP | 既知:なし 疑わしい:なし |
| | | IARC | グループ1: いいえ グループ2a: いいえ グループ2b: いいえ |



安全データシート ジップクリーン(厨房用)

SDS改訂日:

2024/9/1

| | | |
|--|--|-----------------------|
| | | グループ3: いいえ グループ4: いいえ |
|--|--|-----------------------|

8.2. 曝露管理

呼吸器の保護具

適切な保護マスクを着用すること。
工学的管理で空气中濃度が許容レベルを維持しない場合、NIOSH認可の呼吸マスクを着用すること。
呼吸器タイプ:有機蒸気。呼吸用保護具を使用する場合は、以下の規格に準拠する
OSHA規格29 CFR 1910.134

眼の保護具

適切な保護眼鏡を着用すること。
側面シールド、ゴーグル、または顔面シールドを備えた安全メガネを推奨。

皮膚及び身体の保護具

皮膚との接触を最小限に抑えるために、オーバーオールを着用します。

衛生対策

全体換気を行なってください(一般的には1時間当たり10回の空気交換)。換気率は条件に合わせてます。
換気が不十分な空間、蒸発、噴霧、加熱などの使用状況では、補助的な局所排気装置、クローズドシステム、または呼吸用保護具が必要となることがあります。
推奨設備: 洗眼器、安全シャワーの設置

漏出物が排水溝などに流れないように措置を取ること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。汚染された衣類は十分に洗ってから再使用すること。

詳細はセクション2-[予防]を参照。

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|--------------------------------------|--|
| 外観 | 液体 |
| 臭気 | わずかな臭気 |
| 臭気閾値 | データなし |
| pH | 13.5 |
| 融点 | 12 °C |
| 初留点と沸点範囲 | <140 °C |
| 引火点 | なし |
| 蒸発速度(エーテル=1) | データなし |
| 可燃性(固体、気体) | 該当なし |
| 上限/下限、引火または爆発限界 | 爆発下限界: 135°C (275°F): NA 爆発上限界: 199°C (390°F): NA |
| 蒸気圧(Pa) | 1.2 Pa |
| 蒸気密度 | データなし |
| 比重 | > 1.5 (H20 = 1) |
| 水への溶解度 | 完全に溶解 |
| 分配係数 _n -オクタノール/水(log Kow) | データなし |
| 自然発火温度 | (ASTM D 2155): 該当なし |
| 分解温度 | データなし |
| 粘度(cSt) | 25°C/77°F: 該当なし |



安全データシート ジップクリーン(厨房用)

SDS改訂日:

2024/9/1

揮発分(重量%)

該当なし

オクタノール/水分配係数

該当なし

9.2. その他の情報

その他の関連情報はありません。

10. 安定性及び反応性

10.1. 反応性

有害な重合は起こりません。

10.2. 化学的安定性

通常の使用条件で安定。

10.3. 危険有害反応の可能性

データなし。

10.4. 避けるべき条件

データなし。

10.5. 混触危険物質

強酸化剤

10.6. 危険有害な分解生成物

データなし。

11. 有害性情報

急性毒性

| 成分 | 経口LD50、 mg/kg | 皮膚LD50、 mg/kg | 吸入蒸気LC50、 mg/L/4hr | 吸入粉塵/霧LC50、 mg/L/4hr | 吸入ガスLC50、 ppm |
|-----------------------------------|------------------|------------------|-----------------------|-------------------------|------------------|
| 水酸化ナトリウム CAS番号: 1310-73-2 | 35156mg/kg | 1350mg/kg | データなし | データなし | データなし |
| グルコン酸ナトリウム CAS番号: 527-07-1 | > 2000(mg/kg) | 7630mg/kg | データなし | データなし | データなし |
| オキシビスニナトリウム塩 CAS番号: 70146-13-3 | データなし | データなし | データなし | データなし | データなし |
| 水 | データなし | データなし | データなし | データなし | データなし |

注:急性毒性について経路特異的なLD50データが入手できない場合、変換された急性毒性点推定値を製品のATE (急性毒性推定値)の計算に使用しました。

| 分類 | 区分 | 危険有害性の説明 |
|----------|----|----------|
| 急性毒性(経口) | -- | 該当なし |
| 急性毒性(経皮) | -- | 該当なし |



安全データシート ジップクリーン(厨房用)

SDS改訂日:

2024/9/1

| | | |
|-----------------|----|------|
| 急性毒性(吸入) | | 該当なし |
| 皮膚腐食性/刺激性 | -- | 該当なし |
| 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 | -- | 該当なし |
| 呼吸器感作性 | -- | 該当なし |
| 皮膚感作性 | -- | 該当なし |
| 生殖細胞変異原性 | -- | 該当なし |
| 発がん性 | -- | 該当なし |
| 生殖毒性 | -- | 該当なし |
| STOT単回曝露 | -- | 該当なし |
| STOT反復曝露 | -- | 該当なし |
| 誤えん有害性 | -- | 該当なし |

12. 環境影響情報

12.1. 毒性

本製品に関する追加情報はなし。化学物質固有のデータについてはセクション3を参照のこと。

水生生態毒性

| 成分 | 96時間LC50魚、mg/L | 48時間EC50甲殻類、mg/L | ErC50藻類、mg/L |
|--------------------------------|----------------|------------------|--------------|
| 水酸化ナトリウム CAS番号: 1310-73-2 | 45.4mg/L | 40.38mg/L | 入手不可 |
| グルコン酸ナトリウム CAS番号: 527-07-1 | > 1000.0mg/L | > 1000.0mg/L | > 1000.0mg/L |
| オキシビスニナトリウム塩 CAS番号: 70146-13-3 | 入手不可 | 入手不可 | 入手不可 |
| 水 | 入手不可 | 入手不可 | 入手不可 |

12.2. 残留性および分解性

混合物そのものについて入手できるデータはありません。

12.3. 生物蓄積性

未測定。

12.4. 土壤中の移動性

データなし。

12.5. PBTおよびvPvB評価の試験結果

本製品はPBT/vPvB化学物質を含有していません。

12.6. その他の有害影響

データなし。

13. 廃棄上の注意



安全データシート ジップクリーン(厨房用)

SDS改訂日:

2024/9/1

13.1. 廃棄物処理方法

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

| | DOT (国内輸送) | IMO / IMDG (海洋輸送) | ICAO/IATA |
|-------------------------------|--------------|-----------------------|------------|
| 14.1. 国連番号 | UN 1824 | UN 1824 | UN 1824 |
| 14.2. 国連品名 | 水酸化ナトリウム溶液 | 水酸化ナトリウム溶液 | 水酸化ナトリウム溶液 |
| 14.3. 輸送時の危険性クラス | DOT危険性クラス: 8 | IMDG: 8 サブクラス:該当なし | Airクラス: 8 |
| 14.4. 包装等級 | II | II | II |
| 14.5. 環境有害性 IMDG 海洋汚染物質:無 | | | |
| 14.6. 使用者のための特別予防措置 追加情報なし | | | |

15. 適用法令

| | |
|---------|---|
| 労働安全衛生法 | 水酸化ナトリウム CAS番号:1310-73-2 化審法番号:1-410 名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令第18条別表第9) 名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3) 腐食性液体(労働安全衛生規則第326条) 皮膚刺激性有害物質(労働安全衛生規則第594条の2) |
| 労働基準法 | 水酸化ナトリウム CAS番号:1310-73-2 化審法番号:1-410 疾病化学物質(法第75条の2) |
| 水質汚濁防止法 | 水酸化ナトリウム CAS番号:1310-73-2 化審法番号:1-410 指定物質 |

16. その他の情報

責任の限定について

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

本安全データシートにおけるデータは、ここに規定された製品にのみ関するものですが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関し



安全データシート ジップクリーン(厨房用)

SDS改訂日:

2024/9/1

ていかなる保証を行うものではなく、またその品質を保証するものでもありません。製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものであります。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要です。この製品が使用される環境及び条件については弊社がコントロールできない為、弊社は購入者又は第三者に対する損傷に対して、又は物的損害に対していかなる責任を負うものではありません。本SDSの改訂版を受領した場合は、旧SDSを廃棄下さるようお願いします。